

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町 6-1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093(571)1124
FAX 093(583)4924

平成二十四年度 北辰会総会開催される



和三十六年機械科卒)から平成二十三年度事業報告および決算報告があり、そして平成二十四年度事業計画案および予算案の提案がありました。引き続き国廣竹史監査(昭和三十四年電気科卒)より平成二十三年度会計監査報告がありました。

前記の報告および提案について一括して審議を行い、総会の承認を得ました。任期終了にともなう役員改選については、山下恭之選考委員長(昭和二十九年機械科卒)より次の通り新役員名簿が提案され、総会の承認を得ました。

新役員紹介(敬称略)
会長 森 一政(再任)
(昭和四十一年電気科卒)
副会長 江角智恵子(再任)
(昭和三十八年工化科卒)
籠原 裕明(再任)
(昭和四十二年電子科卒)
林 勝男(新任)
(昭和四十五年機械科卒)
竹川 均(新任)
(昭和四十九年機械科卒)
下田 豊一(再任)
(昭和五十年機械科卒)
監査 岡田 豊実(再任)
(昭和四十一年電気科卒)
福井 一憲(新任)
(昭和五十年機械科卒)

平成二十四年度小倉工業高等学校北辰会総会は、五月二十七日に小倉飯店(北九州市小倉北区堺町)で開催されました。今年の当番幹事は平成元年と平成十三年卒業生が務めました。物故者追悼では、旧職員・同窓生ら平成二十三年度中に亡くなられた方々四十五名(平成二十三年五月、平成二十四年五月判明分)のご冥福をお祈りして黙祷いたしました。

引き続き、森一政会長(昭和四十一年電気科卒)の会長挨拶、それから山田晴隆校長の学校長挨拶、そして下田豊一副会長(昭和五十年機械科卒)の体育後援会長挨拶が、それぞれありました。

総会議案審議では、恒例により森会長が指名されて議長を務めることになりました。坂田智之事務局長(昭

坂田事務局長より「規約第七条の二」の「体育後援会長」の名称を「部活動後援会長」に修正するとの提案があり、総会の承認を得ました。

議事終了後、あらためて森会長より役員就任の挨拶がありました。最後に校歌を斉唱して、総会は終了しました。

倉工部活動 がんばろう会開催される

北辰会部活動後援会主催の「倉工部活動がんばろう会」が、平成二十四年八月二十五日(土)午後七時から小倉飯店(北九州市小倉北区堺町)にて開催されました。なお、今までの「体育後援会」の名称は、平成二十四年度北辰会総会において「部活動後援会」に改称されています。

当日は同窓会関係者が二十九名、学校職員が二十九名、部活OBが三十六名、部活生徒保護者関係者が五十七名、合わせて百五十五名を超える方々が参加しました。

下田豊一副会長(昭和五十年機械科卒)が部活動後援会長挨拶を、続けて森一政会長(昭和四十一年電気科卒)が北辰会長挨拶を、そして山田晴隆校長が学校長挨拶を、それぞれ述べました。

懇親会は岸本勝志PTA会長(昭和五十七年電気科卒)が音頭をとり、乾杯して始まりました。宴のアトラクションとして、本校事務次長の竹森雅治氏がサキソフオンを演奏しました。

懇親会の後半、いよいよお待ちかねのイベントが始まりました。「早飲み・早食いリレー」は、一チーム六人で編成しそれぞれが各ポイントに用意されている物を飲んだり食べたりでリレーして、早さを競うものです。各ポイントでは①牛乳をストローで飲む、②シュークリーム(一口サイズ)を五箇食べる、③ペットボトル入りのココ・コーラを飲む、④袋入りの棒菓子を五本食べる、⑤カップ入りのかき氷を食べる、⑥大ジョッキの水を飲む、ことに

教育振興基金の報告

平成二十二年度には多くの皆様からご協力いただき三百六万余円の募金・寄付を賜りました。

この淨財で平成二十三年度の教育振興基金として次の事業を行いました。

- 一、山田奨学会 六十万円
- 一、特別奨学生一名 二十四万円
- 一、一般奨学生二名 五十万円
- 一、科学研究奨学会 五十万円
- 一、部活動の奨励 二十万円
- 一、教育研究奨励 二十万円
- 一、国際研修事業 アメリカ・カナダ生徒一名派遣 二十九万八千九百円
- 一、予備費 三十六万八千四百円
- 一、部活全国大会補助等 三十三万六千二百円
- 一、事務費 二十七万六千二百円
- 一、同窓会負担金補助等 以上母校の要請により事業を推進いたしました。

昨二十三年度には五百五十三名の皆様よりご協力いただいた募金及び寄付金は合計二百六十三万余円となりました。

この淨財は平成二十四年度に母校への支援として有効に使用させていただきます。主な寄付金は次の方々です。

- 昭和三十九年電気科卒一同様 五万円
- 政徳茂樹前事務局長様 三万円
- 籠原裕明副会長様 三万円
- 西応寺様 十万円
- 体育後援会様 八十万円
- 中村達志先生 二万円
- 島元晴治先生 一万円
- 小竹庵様 三十万円
- 大山勝様 十万円

その他多くの会員各位よりご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

会費及び教育振興基金納入のお願い

会員の皆様には年会費を納入いただき感謝申し上げます。

十一月末現在での会費納入状況は一四四万余円で昨年同時期に比べ八〇万円余り下回っています。複数の職域支部が活動を停止する等の影響もありますが個人の納入率が大きく減少しています。

就職状況

今年度、福岡県すべての県立高校の就職内定状況(教育委員会発表)は、九月末で三五・二%十月末で六二・二%の内定率と発表された。昨年度と比べ一七・一%の増加に達している状況である。

その中で本校は、一次試験内定率が七八・九%、十月末までの内定率が九三%とそして現在九八・八%と県内トップの内定率である。これは、同窓の皆様が、あなたかご支援をいただき、それに応え全職員で就職率一〇〇%を目指しサポートし、生徒ひとりひとりが意識を高く持つて努力した成果である。

現在もできるだけ早く就職率一〇〇%を達成するようがんばっている。

訃報



長野正景 前会長

北辰会又母校にとつて大きな存在であった長野正景前会長(昭二十九年機械科卒)は平成二十一年一月、病に倒れ闘病中でした。多くの人達が復帰を願っていました。十一月二十五日午後五分息を引き取りました。

故人には永年に亘り北辰会と母校の発展に多大なご尽力を賜りました。故人のご功績を偲び謹んでご冥福をお祈りいたします。

これからは故人の遺志を引き継ぎ役員一同北辰会及母校の発展に力を尽くす決意です。

名物先生が相次いで
母校には名物先生と呼ばれた教師が数多くいました。その中のお二人の先生が相次いでご逝去されました。

◎藤村 悟先生 (昭十七年機械科卒)
平成二十四年九月二十四日 没
◎大江範二先生
平成二十四年十月三十一日 没
謹んでお二人のご冥福をお祈りいたします。



倉工部活動がんばろう会

小倉工業高校吹奏楽部 第7回定期演奏会

とき 平成25年2月3日(日)
開場13:00 開演13:30
ところ 北九州市ウエルとばた 大ホール
北九州市戸畑区汐井町1番6号
入場料 無料

就職希望者 157名 内定者 155名
(県内84名 県外71名)
公務員希望者 3名
進学希望者 31名
合計 191名 内定率 98.8%
(11月30日現在)

学校だより

部活動

陸上部

▽全国高等学校総合体育大会
(北信越かがやき総体)
男子 400m 予選八組
4位 乃木英治
女子 砲丸投 予選二組
10位 宮本優香
円盤投 予選一組
(工化三年)
8位 宮本優香

▽第28回日本ジュニア
陸上競技選手権大会
名古屋市
女子 円盤投 4位 宮本優香
44m27

ソフトテニス部

▽北九州市ソフトテニス選手権大会
Aチーム 優勝
Bチーム 3位
▽小倉北区内ソフトテニス
選手権大会
B級優勝
泊 裕次 (電気系一年)
中村一聖 (電気系一年)

バスケットボール部

▽第22回「アイルカップ」
高等学校選手権大会
優勝
▽新人大大会北部ブロック予選
県大会出場

野球部

▽第94回全国高校野球選手権大会
県大会出場
小倉工2-4 東福岡

郷土芸能部

▽富士山太鼓祭り
全国太鼓甲子園出場
▽第36回全国高校総合文化祭
とやま2012 出場

ものづくり

▽第11回高校生ものづくり
コンテスト九州大会
電子回路組部門
優秀賞(2位)
金川零生 (電子二年)
▽WRO JAPAN 2012
決勝大会 予選敗退
▽全国高等学校
ロボット競技大会 岡山市
「倉工一号」36位 「予選敗退
「倉工二号」94位

2012サマーフェスティバル開催報告

同窓会小倉北支部主催の「2012サマーフェスティバル」は平成二十四年七月三十一日(火)午後七時から、小倉リーセントホテル(北九州市小倉北区大門)で開催されました。

参加者は、同窓会関係の方が五十九名、学校関係の方が十二名、PTA関係の方が四名、来賓の方が五名、合わせて八十二名でした。そのほかに本校来訪中の韓国・仁川機械工業高校の先生および同窓会関係の方が六名、特別来賓として出席されました。

まず、小屋敷憲治支部長(昭和四十二年工業化学科卒)が小倉北支部長挨拶を述べ、続いて森一政会長(昭和四十二年電気科卒)が北辰会長挨拶を、そして山田晴隆校長が学校長挨拶を述べました。

それから、牟田功二先生(昭和六十一年電気科卒)が、今回出席されている仁川機械工業高校の教頭・教員および同窓会(同窓会)関係者の紹介を行いました。

続いて、張・総同門会幹事から

森・北辰会長へ土産物が贈呈されました。

来賓挨拶を仁川機械工業高校教頭の崔基益氏と同窓会同門会幹事の張基澤氏が述べられました。

懇親会は、榊司郎・元校長(昭和二十六年工業化学科卒)の乾杯に唱和して始まりました。

宴では、竹森雅治・本校事務次長のサキソフォン演奏があり、韓国の歌(アリラン)や日本の歌(ふるさと)など披露していました。

宴の終わりはイベントのビンゴゲームが行われ、来賓の方々も楽しんで参加されていました。

そして、本校の校歌を斉唱後、エールを唱和し、続けて山本久信・本校前校長の音頭で万歳三唱をして、今年のサマーフェスティバルの幕を下ろしました。



2012体育大会開催



平成二十四年度体育大会は、平成二十四年十月七日(日)十二時から母校グラウンドで開催されました。

今年の大会のテーマは、「GO FOR THE TOP」を掲げられ、倉工のトップで各クラスの生徒諸君は、それぞれ「テッペン」を目指して、知恵を出し合い工夫し、練習を積んできた成果を披露しました。

今年も大会プログラムの競技種目には、いろいろと考えたタイトルが付けられていました。例

えば「100メートル走」では、昨年の「DASH・DASH」だったのが、今年は「ボルトの如く駆け抜ける」となっているようにです。生徒諸君の思いが感じられて、楽しくなっています。

プログラム最初の「100メートル走」では、女子選手はアドバンテージ(有利点)が与えられ、スタートラインの前方16メートルの位置からのスタートとなりました。同様に、「ハードル走」ではスタートラインのアドバンテージが10メートル、正規より低いハードルが配置されています。また「リレー走」では、女子選手が第一走者のときのスタートラインはアドバンテージ8メートル。そしてカーブ部分は正規コースの内側に設けられている内回りコースを走っていました。これらの有利点をうまく使った女子選手の活躍が目立ちました。

二年生全員が参加する綱引き「勝利を引き寄せろ」、そして三年生全員が参加する大縄跳び「ON

NOW ONE (今一つ)

いづれも各クラスの生徒が心を合わせて勝負を競う姿は迫力がありました。

いつもいろいろなパフォーマンスを見ている観衆を驚かせてくれる集団行動「一致団結 静と動」は、今年も規律ある団体行動として苦心のパフォーマンスなど、素晴らしい演技を見せてくれました。

日が落ちる頃から組別応援合戦「各科の思いをここに」が始まりました。まず応援を披露するクラスが製作した装飾に電源がはいり、その説明がアナウンスされます。続いてグラウンドに観客席の生徒諸君の応援を指揮する応援団が登場します。応援団はいろいろなパフォーマンスを繰り広げながら観客席の生徒諸君と一体となって応援を盛り上げました。工業化学科の応援団は学ランを着用した女生徒でした。

最後の組別対抗リレー「ラストバトル(選ばれし精鋭達)」では、それぞれ選ばれた選手達が、観衆の大歓声の中、クラスの榮譽を担って力走しました。

熱き戦いは、全校生徒による応援歌・校歌の大合唱で締めくくられました。

大会の終わりを告げる打ち上げ花火が夜空を鮮やかに飾りました。

平成23年度にご逝去された方々

ご逝去された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。
(平成23年5月16日より平成24年5月15日までに連絡のあった方々)
(敬称略)

旧職員	井上 輝生	昭16年電	大江 好夫	昭27年電	吉岡 和敏
昭8年電	濱田 耕一	昭16年電	野見山正司	昭28年電	香田傳二郎
昭9年電	橋村 静馬	昭17年電	梶原傳太郎	昭28年電	佐藤 寿雄
昭10年電	内藤 一雄	昭17年電	中村 幸次	昭28年電	仲野 賢
昭10年電	海老塚喜八	昭17年電	増野 勉	昭28年電	青木 嶺次
昭11年電	大野多美治	昭17年電	勝原 泉	昭28年電	西川 栄
昭14年電	江島 恒蔵	昭17年電	中川 清	昭28年電	伊藤 司
昭15年電	佐々木官雄	昭17年電	甲田 章三	昭28年電	内山 哲哉
昭15年電	古川 貞明	昭17年電	山下 秀夫	昭28年電	河原 宏樹
昭16年電	定村健治郎	昭17年電	仲上 誠	昭28年電	清原 輝生
		昭17年電	松山 謙	昭28年電	柴田 敏彦
		昭17年電	市田 神児	昭28年電	山口 瑞雄
		昭17年電	杉本 功	昭28年電	市川 龍次
		昭17年電	大内 一	昭28年電	松本三千人
		昭17年電	中村 純雄	昭28年電	江島 恒孝
		昭17年電		昭28年電	坪井 生論
		昭17年電		昭28年電	鴛海 真二
		昭17年電		昭28年電	富田慎一郎
		昭17年電		昭28年電	大塚 捷人

平成23年度 北辰会決算書 及び 平成24年度 予算案

費目	平成23年4月1日～平成24年3月31日		対比増減	摘要	平成24年度 予算額	摘要
	予算額	決算額				
前年度繰越金	737,523	737,523	0		687,818	
同窓会費	3,000,000	3,509,800	△509,800	1,755件	3,000,000	@2,000円×1,500名
新入生入会金	600,000	600,000	0	@3,000円×200名	600,000	@3,000円×200名
在校生同窓会費	3,540,000	3,521,000	19,000	@500円×12ヶ月×1.23年	3,546,000	@500円×12ヶ月×1.23年(591人)
預金利息	177	105	72	福銀1 13円 福銀2 92円	182	
名簿販売金	90,000	108,000	△18,000	24冊	90,000	@4,500円×20冊
雑収入	32,300	500,000	△467,700	総会寄付500,000円	76,000	
合計	8,000,000	8,976,428	△976,428		8,000,000	
支部還元金	80,000	260,000	△180,000	支部活動支援費	100,000	支部活動支援費
組織対策費	300,000	355,392	△55,392	組織強化費用・関東支部周年行事支援	300,000	組織活性化・組織強化費
大名簿編集費	1,000,000	1,000,000	0	名簿積立金	1,000,000	平成28年度改訂積立金
体育後援費	1,200,000	1,200,000	0	部活動奨励金・同窓会/以補助	1,400,000	部活動奨励金・同窓会/以補助
事務手当	1,000,000	1,000,000	0	事務局長手当	1,000,000	事務局長手当
人件費	1,400,000	1,391,110	8,890	パート代(交通費含む)	1,400,000	事務局パート代
印刷費	180,000	204,049	△24,049	印刷機・コピー機・インク代	200,000	印刷機・コピー機・インク代
会報費	600,000	505,238	94,762	北辰会報秋季号	550,000	北辰会報印刷費・発送費
会議費	100,000	58,456	41,544	理事評議員会・支部代表者会議	100,000	理事評議員会・支部代表者会議
通信費	150,000	140,412	9,588	電話代・領収書集計代・案内等	150,000	電話代・会議録代・領収書集計代
旅費交通費	300,000	244,370	55,630	各支部総会出席旅費等	300,000	支部総会出席旅費・事務局交通費
永年勤続表彰費	60,000	60,000	0	2名	30,000	学校職員10年勤続者1名
慶事費	150,000	130,000	20,000	支部総会祝儀等	150,000	各支部総会祝儀等
産業教育振興費	5,000	5,000	0	1口	5,000	産業教育等協賛費年費1口
事務用品代	100,000	80,115	19,885	コピー用紙・PC周辺機器	150,000	事務局事務用品等
振替手数料	110,000	109,805	195	会費振替手数料	110,000	会費振替手数料等
雑費	60,000	52,716	7,284	茶葉代等	60,000	茶葉代等
事務局運営費	300,000	257,996	42,004	水道光熱費・家賃・清掃代等	300,000	水道光熱費・事務局清掃代・家賃
予備費	875,000	503,355	371,645	水道工費材料代 他	665,000	
北辰会長表彰費	30,000	30,596	△596	生徒表彰記念品代	30,000	生徒表彰記念品代
寄付	0	700,000	△700,000	基金へ	0	
合計	8,000,000	8,288,610	△288,610		8,000,000	
次年度繰越金					687,818	
						福銀1 104,964円 福銀2 427,503円 現金 155,351円

平成23年度 北辰会定期総会決算書 (昭和63年・平成12年卒当番幹事)

費目	金額	摘要
総会会員券	1,630,000	@5,000円×326枚
広告料	2,350,000	@5,000円×470口
雑収入	840,966	祝儀158,000円 イベント収入210,000円 前年度準備金467,966円 その他5,000円
合計	4,820,966	
総会費	2,379,018	総会飲食費・会場・関係諸費・会場費・アトラクション代・写真代・総会資料及び会員券等印刷代・送料等
当番幹事会議費	443,352	当番幹事会議費及び反省会費
事務局運営費	1,998,596	次年度準備金456,117円 同窓会寄付500,000円 冬季会報費418,486円 震災義援金 通信費・雑費・事務局運営費等
合計	4,820,966	
差引残高	0	

平成23年度 教育振興基金決算書

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
前年度繰越金	12,182,973	12,182,973	0	前年度繰越金
寄附金	3,380,000	2,635,689	△744,311	現金1,456,889円 振込1,178,800円
雑収入	3,937	1,692	△2,245	預金利息
合計	15,566,910	14,820,354	△746,556	
特別奨学金費	600,000	600,000	0	@50,000円×1名×6月(前期) @50,000円×1名×6月(後期)
山田奨学会費	240,000	240,000	0	@10,000円×2名×6月(前期) @10,000円×2名×6月(後期)
科学研究奨学会費	500,000	500,000	0	情報教育システム物品購入
部活動奨励費	500,000	500,000	0	
教育研究奨励費	200,000	200,000	0	情報教育システム物品購入
国際研修費	400,000	298,480	101,520	アメリカ研修
管理費	200,000	190,590	9,410	振込用紙印刷代 振込手数料
事務費	365,784	276,120	89,664	同窓会館財産使用料
予備費	12,561,126	360,840	12,200,286	次世代リーダー養成塾参加費 陸上部・空手部インターハイ・陸上部団体 化学分析・ロボット競技・マイコンカーラリー全国大会
合計	15,566,910	3,166,030	12,400,880	